

更生保護 あおもり

【第83号】

発行日 平成29年3月31日
 発行者 更生保護法人 青森県更生保護協会
 青森県保護司会連合会
 青森市長島1-3-25
 電話 017(776)6419



平成28年 五所川原立佞武多 「出雲の阿国」

不安感や閉塞感が、巷に蔓延する乱世の世でありながら、人々の笑顔を作り上げていく、優しくも気丈な阿国の姿は、現代社会の様々な荒波に立ち向かう女性像を彷彿させる。

場面は、阿国がかぶき踊りを舞っている姿。背景の大きな番傘は見送りに表現する歌舞伎大人気の演目「助六」がさしているもの。

立佞武多が巨大灯籠復活の源流として、益々入りする事への願いと、困難に立ち向かう日本人の不屈の精神を表現。

〈立佞武多の館ブログより〉



“立ち直る、あなたと”

特定非営利活動法人
青森県就労支援事業者機構

会長 大坂 健藏

知人・友人に青森県就労支援事業者機構の名称を持ち出すと、決まって「就労・就活支援、大変でしょう」と返ってくる。

“この機構は、犯罪・非行をした人の就労支援を行い、安全な地域社会づくりに貢献する組織です。”と説明するが、けげんな顔をされる。若者・高齢者・障害者の方々の就活支援と勘違いされているようなのだ。初めて聞くという人も多い。

当機構は、平成20年に結成した全国機構の地方組織として平成21年、青森県商工会議所連盟などの経済団体・業界団体を始め、多くの事業者の方々からご理解とご支援を得て設立されました。

まもなく、8年を迎えようとしているが、他の更生保護団体に比し歴史も浅く認知度ほか課題も多い。「どのような活動をしているのですか？」と聞かれる。社会が平和で幸せであるためには、犯罪を少なくしていく努力が必要ですが、凶悪な犯罪が

後を絶ちません。

近年は「犯罪の6割が再犯者により行われている」、「無職者の再犯率が有職者に比べ高い」という現状があり、再犯者にとって、復帰の場となるべき社会は「住まいがない」「仕事がない」「相談相手がない」という厳しい現実が待ち受けている。

立ち直るあなたに、就労支援の扉をたたいて欲しい。そして再犯を思いとどまつて欲しい。

当機構の目的は、“犯罪・非行をした人への就労支援を通じ社会復帰を果たし、地域社会の順良な一員として立ち直ることを手助けする”ところにあります。

「青森県の現状はどうなっていますか？」

派出所を差別せず、雇用を申し出ている善意の協力事業主は170余ありますが、出会いの促進と就労支援には、多くの苦労と困難を伴っている。

私見ですが、派出所と事業主の就労をマッチングさせるため、ハローワークのような情報センターをつくれないものでしょうか。

今後、ますます更生保護他団体（更生保護協会・保護司会・更生保護施設・協力雇用主会・BBS会・更生保護女性会）との連携強化が不可欠であります。

皆様のご理解とご支援を得て、本機構の充実発展に努めたいと存じますので、一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

しあわせ “幸福の黄色い羽根”とは



「社会を明るくする運動」への賛同を示す身近な協力のしるしとして長崎県で生まれ全国展開されたものです。更生保護のシンボルマークであるヒマワリの黄色と、刑期を終え出した男性をあたたかく迎える夫婦愛を描いた映画「幸福の黄色いハンカチ」（昭和52年、山田洋次監督）から着想を得ており、犯罪のない幸福な社会を願うシンボルマークとして使用しています。



更生ペンギン
「ホゴちゃん」と「サラちゃん」



〈ブロック便り〉



〈県央ブロック〉

(青森地区・野辺地地区・むつ地区)



全国47都道府県1600公演達成! 病院・施設に勇気を届ける坂本龍馬

10月18日(火)野辺地町中央公民館において、青森・むつ下北・野辺地3地区から84名の参加。開会行事に続き音楽活動家・シンガーソングライター松尾貴臣氏を招いて、詩とお話の講演とした。松尾氏は千葉大学大学院在学中にCDデビュー。2007年から「資本主義から感動主義へ」をスローガンに、本業の傍ら自身のキャラバンカーに機材を積み音楽を通じた社会貢献活動にも力を入れている。講演では15歳で描いた夢で上京、とある末期がんの女性との出会い等、のお話は心に残る講演となりました。

〈弘南ブロック〉

(弘前地区・南黒地区・河南地区)



最近の青少年犯罪の傾向と動向について

平成28年11月22日(火)、黒石市乙徳兵衛町「グリーンパレス松安閣」で開催された研修会では、弘前・黒石・河南地区保護司約60名の参加で行われ、青森県警弘前警察署の生活安全課少年係長警部補、橋本広樹氏を講師に迎え、「最近の青少年犯罪の傾向と動向について」を演題に約1時間講演していただきました。

犯罪数の減少は全国的にみられるもののその数は依然として巧妙・悪質の一途をたどっている内容が報告され、内心どきりといたします。

研修会終了後は、おいしい料理と黒石の地酒で情報交換を行い、和気あいあいのうちに終了することができました。

〈県南ブロック〉

(八戸地区・上十三地区)



「新年度の県大会は11/14八戸市」

1月27日、八戸プラザホテルにおいて八戸地区保護司会の自主研修及び新年会が開催されました。研修内容は、

(1)青木功八戸地区保護司会副会長による平成28年東北管内地方別保護司代表者協議会報告として「生活環境の調整を充実強化する上で、保護司として配慮すべき事項について」。

(2)天内修青森県保護司会連合会会長による「県大会について」。本年の県大会は八戸市において11月14日開催予定です。

引き続き、新年会が天内連合会会長の乾杯の音頭により始まりました。

〈県西ブロック〉

(五所川原地区・つがる地区・鰯ヶ沢地区)



更生保護と社会福祉

平成28年10月19日、五所川原市民学習情報センターにおいて、「更生保護と社会福祉」と題して講演会が実施されました。

講師は、元五所川原地区保護司会会长で、現在は、板柳町社会福祉協議会会长のお立場にある竹内照明氏です。福祉の基本は生活支援であるという観点から、更生保護と福祉の連携の必要性についての内容でした。

有意義な特別研修の時間でした。

第66回“社会を明るくする運動”作文コンテスト表彰式

期日／平成29年1月6日(金)

会場／県観光物産館アスパム(青森市)にて

青森県推進委員会

第66回“社会を明るくする運動”作文コンテストの表彰式が行われ、県健康福祉部・鈴木次長（知事代理）のほか、更生保護関係団体の代表が出席されました。

青森県推進委員会では、りんご賞（青森県知事賞）に、「更生保護にふれて分かったこと」南部町立福地中学校3年金沢阜輝（こうき）さんが選ばれ、本人が入賞作品を朗読しました。

作文コンテストは平成5年から始まり今回で24回目となり、今回全国から小学生約139,647点、中学生190,347点の応募がありました。

青森県更生保護協会では、入賞作品集「ひまわり」を作成し、保護司と関係団体に配付しました。



更生保護関係団体の代表と被表彰者

保護局 ツイッター 情報



フォローする

【保護司研修@青森】新たに保護司に委嘱された、最初の任期中の方を対象にした「処遇基礎力強化研修」が開催され、青森県内の保護司30人が保護司活動や保護観察処遇の基礎学びました。昼食には、ホゴちゃんのお弁当をいただきました！



ホームページ、
スマートフォンで
見られますよ。

保護局 検索

※掲載は保護局から
許可得ています。

【三者研修@函館】更生保護を支えるボランティア団体の保護司会・更生保護女性会・BBS会。三者の連携強化のための合同研修が開催されました。保護観察所職員の講義に続き、各団体から活動の現状と課題について発表があり、その後の意見交換で、相互の連携の大切さを改めて理解しました。



【社明@首相官邸】本日、首相官邸で「再犯防止推進のための国・地方・民間会合」が行われ、#谷村新司 さん、#鉄拳 さん、全国保護司連盟の野沢理事長、井戸田京都府知事、山田京都府知事が日頃の活動を紹介。安倍総理から#社会を明るくする運動 の推進に向けたメッセージをいただきました。



おめでとうございます (敬称略)

◆平成28年【秋の叙勲・褒章】

【瑞宝双光章】

黒瀧信行(弘前・保護司) 更生保護功勞
山形民雄(青森・保護司) 警察功勞

【藍綬褒章】

岩城和子(上十三・保護司) 更生保護功績

平成28年度被表彰者

法務大臣表彰【保護司】

柳引義弘(青森)	蛇名将輝(青森)
宮崎春子(弘前)	野呂秋江(弘前)
佐々木重昭(弘前)	田中正子(八戸)
渡辺英雄(八戸)	白戸治(南黒)
松山セツ子(五所川原)	葛西貞夫(つがる)
添澤丈志(鰐ヶ沢)	佐藤良子(上十三)

更生保護法人 全国保護司連盟理事長表彰【保護司】

石田次郎(青森)	須田博(青森)
高久由里子(弘前)	山形英雄(弘前)
古村幸満(八戸)	北畠和加子(八戸)
大庭紀元(八戸)	福士忍顯(五所川原)
大庭弘(五所川原)	山村正彦(上十三)
小野勝平(上十三)	立花哲藏(むつ下北)

更生保護法人 全国保護司連盟理事長表彰【内助功劳】

富田重照(五所川原)	石田博(上十三)
------------	----------

更生保護法人 全国更生保護法人連盟理事長表彰【法人役職員】

佐藤満廣(平川市)	(更生保護法人青森県更生保護協会 監事)
-----------	----------------------

東北地方更生保護委員会委員長表彰【保護司】

山形民雄(青森)	小松史明(八戸)
工藤威美子(八戸)	小野沢秀明(八戸)
日澤忠道(八戸)	菊地愛子(南黒)
石澤薰(南黒)	佐々木幸子(河南)
角田好隆(五所川原)	伊藤敏雄(五所川原)
山口龍之進(五所川原)	七戸満(つがる)
松沢忠男(鰐ヶ沢)	前田憲良(上十三)
白瀬清修(むつ下北)	蛸嶋正男(むつ下北)

東北地方更生保護委員会委員長感謝状【民間協力者】

青い森鉄道株式会社(青森市)

東北地方保護司連盟会長表彰【保護司】

大柳常弘(青森)	棟方公男(青森)
伊藤文隆(青森)	工藤ひとみ(青森)
藤井清子(青森)	羽賀恵子(青森)
阿部哲(青森)	工藤みどり(青森)
藤ノリ(弘前)	伊藤公正(弘前)
花路伸樹(弘前)	田澤昭次郎(弘前)
淡路正彦(八戸)	山口裕貢(八戸)
内慶雄(八戸)	山田義雄(八戸)
三浦慶久(河南)	奈良浩(河南)
齋藤直市(五所川原)	保土沢喜美栄(上十三)
田中潤一(上十三)	辻登志雄(むつ下北)

東北地方保護司連盟会長表彰【内助功劳】

櫻田節子(青森)	高久広司(弘前)
橋本精二(八戸)	秋田節子(五所川原)
久慈てい子(むつ下北)	

青森県知事感謝状【保護司】

神代耕四郎(弘前)	勇(青森)
八工藤智也(八戸)	峰(青森)
小林千恵(上十三)	泰雄(八戸)
鳥谷俊(野辺地)	マサ子(上十三)
	秀雄(上十三)

青森保護観察所長表彰【保護司】

小林政英(青森)	芳(青森)
寺島孝(青森)	典(青森)
赤平藤恵美子(弘前)	秀柳(青森)
佐藤悦雄(弘前)	中秋(青森)
大久保藤淳(八戸)	村(青森)
齋藤笑子(河南)	工(青森)
加藤たか子(河南)	藤澤(青森)
安田俊喜(五所川原)	久(青森)

青森保護観察所長感謝状【民間協力者】

有限公社今建設工業	代表取締役	今博光(青森市)
工藤建装	社長	工藤久(青森市)

青森保護観察所長感謝状【BBS会員】

小林優人(青森大学)	天神内山(青森大学)	美穂(青森大学)
相馬宗(青森大学)	今佐遠(青森大学)	夫(青森大学)
藤樹(青森大学)	高橋(青森大学)	夢(青森大学)
中元氣(弘前大学)	本橋(青森大学)	穂(弘前大学)
高藤佑(弘前大学)	崎(青森大学)	樹(弘前大学)
藤相朱(弘前大学)	木川(青森大学)	優(弘前大学)
中植也(弘前大学)	上田(青森大学)	碧(弘前大学)
高藤慎(弘前大学)	田葉(青森大学)	馨(弘前大学)
藤田真(弘前大学)	花千村(青森大学)	道(弘前大学)
高藤悠(弘前大学)	田中(青森大学)	遼(弘前大学)
藤田翔(弘前大学)	美沙(青森大学)	実(弘前大学)
藤奈真(弘前大学)	田中(青森大学)	佑(弘前大学)
照村悠(弘前大学)	田中(青森大学)	々(弘前大学)
	田中(青森大学)	光(保健大学)
	田中(青森大学)	美沙(保健大学)

青森県保護司会連合会長表彰【保護司】

木村良眞(青森)	佐白太郎(青森)	光(青森)
山村一次(青森)	長齋(青森)	きよ(青森)
田中みどり(青森)	高橋(青森)	勇(青森)
佐藤崇善(青森)	高橋(青森)	孝(青森)
山田正文(青森)	高橋(青森)	豊(青森)
佐藤研(青森)	高橋(青森)	和(青森)
小丸二誠(青森)	今古関(青森)	芳(青森)
園研(青森)	閑(青森)	将(青森)
吉澤正(青森)	小土(青森)	信(青森)
澤有(青森)	二本柳(青森)	ミ(青森)
	田(青森)	好(青森)

青森県保護司会連合会長表彰【内助功劳】

須田智子(青森)	木村雅子(青森)	子(弘前)
橋准子(青森)	谷神(青森)	マ(南黒)
古川いみ子(五所川原)	川神(青森)	勝(つがる)
川春江(むつ下北)	小澤(青森)	美志(上十三)
金明元(野辺地)	泉(青森)	さちゑ(むつ下北)

青森県保護司会連合会長表彰【協力雇用主】

有限公社マルボク木村燃商	木村愷三(八戸市)
株式会社藤久らばんりあ	藤田勝弘(五所川原市)

特定非営利活動法人青森県就労支援事業者機構会長表彰（協力雇用主会員）

六ヶ所工業有限会社
代表取締役 高橋 のり子（六ヶ所村）

東北地方BBS連盟会長表彰【BBS会員】

金澤拓紀（青森） 高谷 賢（青森）

“社会を明るくする運動”

青森県推進委員会委員長感謝状（民間協力者）

青森市立甲田中学校（青森市）
梵珠山元光寺（青森市）

◎更生保護女性会員

法務大臣感謝状

小山内 洋子（平川）

日本更生保護女性連盟会長表彰

川村 アイ子（青森） 野澤 寿代（八戸）
菊池 愛子（中泊町）

東北地方更生保護委員会委員長感謝状

菊池 レイ子（大鰐） 吉田 絹恵（おいらせ町）
田沢 泰子（東北町） 島田 洋子（板柳）
北澤 禮子（つがる市） 松谷 慎子（大間）

東北地方更生保護女性連盟会長表彰

小野 栄子（青森）	相馬 千江（青森）
横山 勝子（青森）	稻野 光子（青森）
浅利智子（弘前）	松橋 佳子（弘前）
木村トミエ（五所川原）	菊池 遊子（五所川原）
山本スズエ（八戸）	速水 悅子（八戸）
幸田繁（三戸）	神庭 祝子（黒石）
一ノ渡田明（平内）	櫻築 庭スミ（三戸）
鍋百合子（七戸）	築場 トシエ（七戸）
赤平紀子（大鰐）	増田 静枝（十和田）
櫻井のり（むつ）	三村 トワ（おいらせ町）
石川美穂子（中泊町）	古川 明美（平川）
一戸良子（鰺ヶ沢）	高田 美恵子（野辺地）
橋石孝子（三沢）	蛭沢 京子（東北町）
菊池睦子（五戸）	山内 迪子（板柳）
平川光子（つがる市）	一戸 田鶴子（鶴田）
田久美子（大間）	吉田 悅子（六戸）

青森保護観察所長感謝状

浦添久江（青森）	大川 カズ子（青森）
櫻田恵子（青森）	丸山 春子（青森）
植田とし（弘前）	角田 洋子（弘前）
小島きみゑ（五所川原）	熊谷 雅子（五所川原）
福島美登利（八戸）	藤村 幸子（八戸）
加藤恵子（八戸）	三浦 ツエ（黒石）
山村栄子（三戸）	羽澤 則子（三戸）
高杉よし子（平内）	竹内 ハナ（七戸）
端佐藤幸江（七戸）	小林 千恵子（十和田）
佐藤イサ（大鰐）	田中 悅子（むつ）
柏木ハル（むつ）	西館 愛子（おいらせ町）
徳田トミエ（中泊町）	八木橋 ぬえ子（平川）
秋田谷シサ（鰺ヶ沢）	松橋 恵子（野辺地）
田代ミオ子（三沢）	野チヨ（東北町）
佐々木ひさ（五戸）	佐藤 恵理子（板柳）
野呂やちよ（つがる市）	吉田 ひさ子（鶴田）
岩佐裕子（大間）	下田 孝子（六戸）

青森県更生保護女性連盟会長表彰

成田京子（青森）	川洋子（青森）
坂本タ伢子（青森）	中八千代（青森）
野呂秋江（弘前）	工フヂエ（弘前）
金久子（五所川原）	高京良京（五所川原）
浜整悦子（五所川原）	杉浦野村子（五所川原）
小林節てる子（八戸）	下谷鼻藤敦子（八戸）
岡寿ス（八戸）	竹原トキエ（十和田）
逢作美知子（八戸）	澤工竹ケエ枝（むつ）
百竹園信子（中泊町）	山村米向（おいらせ町）
中村愛子（鰺ヶ沢）	坪泰子（平川）
中村泰子（五戸）	須野子（東北町）
成田成ヨ（つがる市）	田沼あけみ（野辺地）
田畑眞代（大間）	畠須ダ子（板柳）
田畠眞代（大間）	田澤ゆり子（鶴田）
田畠眞代（大間）	田畠徹子（六戸）

保護司の異動

○退任保護司 長い間ありがとうございました。

(平成28年12月15日付け) 大庭紀元（八戸）
(平成28年12月31日付け) 成田時雄（青森）
(平成29年2月28日付け)
兵庫哲朗（青森） 須田博（青森）
白戸恵子（青森） 白坂順子（青森）
風宮晴洋子（青森） 赤垣一夫（青森）
宮崎春子（弘前） 佐藤ふじ子（弘前）
小澤江（八戸） 小野寺和子（八戸）
田中勝芳（八戸） 田沼義行（八戸）
城和子（上十三） 小野勝平（上十三）
四戸巧（野辺地）

(平成29年3月31日付け) 春藤安正（青森） 佐藤良子（上十三）

○新任保護司 今後の御活躍を期待します。

(平成29年3月1日付け)
菊池紀行（青森） 山上雄治（青森）
鳴海敏恵（青森） 小野博幸（青森）
七戸俊逸（青森） 工藤美智子（青森）
大山由紀子（青森） 桦谷徹也（青森）
佐々木雅久（青森） 品田泰峻（八戸）

○保護司の異動

(平成28年12月1日付け) 工藤みどり（つがる） 青森保護区から転属
(平成29年2月1日付け) 築地龍志（上十三） 秋田県潟上湖東保護区から転属

●敬弔 ここに生前の御功績を偲び、謹んで哀悼の意を表します。

秋山秀男（八戸） 平成28年11月9日御逝去
沼口博喜（野辺地） 平成28年11月27日御逝去
山田義雄（八戸） 平成29年1月9日御逝去
後藤辰雄（野辺地） 平成29年2月22日御逝去

宮城県名取市に住む 保護司の大沼えり子さんを 主人公とした映画



仙台市で7月に先行上映 9月から全国公開予定!



イントロダクション

親による虐待や子殺し、子どもたちの貧困といじめ、子どもたちを取りまく孤独、こんな時代に、ひたすらに子どもたちのそばに寄り添い、活動する一人の女性。

彼女は保護司となって、犯罪を犯しながらも立ち直り、新たな未来を目指して苦悩する子どもたちと向かい合うことになりました。その犯罪の根底にあるものが、又その更生を困難にさせているものが「地域社会と家庭の崩壊」にあることに気づき、全力でその更生を実現すべく長年努力を続けて来たのでした。

あらすじ

心ならずも犯罪を犯しながらもそこから立ち直り新たな未来を目指して苦悩する子どもたちと向かい合う保護司の姿を描く。

宮城県名取市に住む松浦香苗は、夫と一緒に街で小さな食堂を営む傍ら、保護司として心ならずも罪を犯してしまった子どもたちの、社会での立ち直りを支援する活動をしていた。

そんな折、香苗に保護観察所から一人の保護観察中の少年の担当が依頼された。

啓太…5年前の津波で命を失った香苗の息子が、子どもの頃親友として交わっていた少年だった。

2011年3月宮城県名取市で東日本大震災を体験、被災者であり復興活動支援者でもある。

1957年3月宮城県生まれ。二児の母。大学在学中から東京、仙台を中心にシンガーソングライターDJとして活躍。結婚後嫁ぎ先の割烹の若女将の仕事をこなしつつ、2001年保護司の委嘱を受ける。以来子ども達の更生に尽力する傍ら、DJロージーとして東北地方にある3つの少年院に向けて院内放送を制作、番組を送り続ける。少年の自立を支援するNPO法人「Rosy Bell」代表。

事業に失敗した父親は、啓太を連れて夜逃げ同然にこの街を去ってしまい、それ以降は音信も途絶えていたのだ。

日一日と、香苗とその家族の支えで、かつての自らを取り戻しつつある啓太だったが、父親の借金返済のため再度盗みに手を染めてしまった。

香苗のもとに足を運ぶ刑期を終えた啓太の姿があった。

掲載内容 / シネマとうほくホームページより一部引用

制作会社 株式会社アルファワンド
配給会社 協同組合ジャパン・スローシネマ・ネットワーク（シネマとうほく内）

映画制作の支援金を募っています

（個人・法人とも）一口 100,000円

※ご協力頂いた個人・団体には1枚1,000円の「制作協力券」を100枚進呈します。（全国いずれかの上映会場でご観賞できます。）

※ご協力頂いた方は、映画エンドロールに記載しスクリーン上でご紹介します。

観賞についての詳細は、後日関係者の皆さんにお知らせします。

お問い合わせは 青森県更生保護協会 事務局 鬼柳まで

青森県更生保護協会・青森県保護司会連合会も応援しています。

後援 / 法務省 保護局、更生保護法人 日本更生保護協会、更生保護法人 全国保護司連盟、更生保護法人 全国更生保護法人連盟、日本更生保護女性連盟、
NPO法人 日本BBS連盟、認定NPO法人 全国就労支援事業者機構、宮城県、名取市、岩沼市、川崎町、宮城県教育委員会、宮城県中学校長会、宮城県高等学校長会

第38回 青森県更生保護大会

〈青森地区大会〉

日時/平成28年11月8日(火)

会場/リンクステーションホール青森 (青森市文化会館)

**犯罪が繰り返されない、新たな被害者を生まない、
「世界一安全な国、日本」の実現**

ひとたび犯罪や非行をした者を社会から排除し、孤立させるのではなく、責任ある社会の一員として再び受け入れることが自然にできる社会の構築が強く求められる中で、更生保護が担うべき役割はますます幅広く、重要なものとなっています。犯罪や非行のない明るい社会の実現に寄与しようと平成28年11月8日(火) 青森保護観察所・青森県保護司会連合会等更生保護関係団体が主催、青森県、青森市、平内町、外ヶ浜町、今別町、蓬田村が共催で、リンクステーションホール青森(青森市文化会館)で開催されました。

青森県内各地から参加者(保護司・更生保護法人役職員・更生保護女性会員・BBS会員・協力雇用主・就労支援事業者機構会員等)、参列者(関係機関・団体の代表者等)、一般参加者約700人が参加し、はじめに「大相撲うらおもて 相撲王国崩壊? 青森県はどこへ」と題してRABラジオ「大相撲をより面白く観る方法」パーソナリティ外崎 勝氏が講演、式典では青森県保護司連合会天内会長が式辞を、その後の顕彰では法務大臣表彰などが行われ、最後に大会宣言文が発表・採択され万歳三唱で大会を終了しました。



法務大臣表彰



「大相撲うらおもて 相撲王国崩壊? 青森県はどこへ」

RABラジオ「大相撲をより面白く観る方法」パーソナリティ
講師 外崎 勝 氏

【プロフィール】
◎元・東奥日報社 社会部記者・常務取締役
◎元・東奥アドシステム代表取締役社長
◎RABラジオ・パーソナリティ21年間継続中



平成29年度県大会開催地代表挨拶
八戸地区保護司会 上田会長

予告

平成29年度 第39回青森県更生保護大会
開催日/11月14日(火) 開催地/八戸市

次の方々から浄財が寄せられました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)

(更)青森県更生保護協会 寄附者御芳名

〈平成28年9月1日～平成29年3月31日〉

〈40万円〉協同組合タッケン
 〈30万円〉有限会社三和堂
 〈20万円〉八戸地区保護司会・青森地区保護司会
 〈15万円〉弘前地区保護司会
 青森県共同募金会(歳末たすけあい)
 〈10万円〉北山良二
 三浦順子
 〈5万円〉千葉満・川嶋勝美
 藤井洋一郎・中村勝弘
 〈4万円〉田邊孝美・石田恒久
 山口正春・石田憲芳
 武田隆一・川島重治
 柿崎雅美・木村桃子
 〈3万円〉清水邦博・沼田秀美
 佐藤満・半田健雄
 天内修・坂泰弘
 加山史徹・大木善彦
 大瀧次男・遠間弘彦
 米谷恵司・源新彦
 津島弘美・八木橋満則
 青森県更生保護女性連盟・鎌田喜代志
 野辺地地区保護司会・上十三地区保護司会
 南黒地区保護司会・むつ下北地区保護司会
 日専連青森女性部会・五所川原地区保護司会
 〈2万円〉樋口修三・つがる地区保護司会
 河南地区保護司会・鰯ヶ沢地区保護司会

(更)青森県更生保護協会 会員御芳名

〈平成28年9月1日～平成29年3月31日〉

【普通会員】 〈5千円〉中村盛江
 〈1千円〉石岡芳幸
 佐藤タケ
 浅井良子
 青森県内保護司 581名

【賛助会員】 〈8万円〉株式会社 青森銀行
 〈1万円〉宗教法人 常現寺
 (株)アクション

(更)あすなろ 寄附者御芳名

〈平成28年9月1日～平成29年3月31日〉

〈50万円〉(株)夢中人 平井茂
 〈15万円〉黒瀧信行
 〈10万円〉ドラゴンキューブ(株)
 〈5万円〉青森地区保護司会
 石田道夫
 〈3万円〉青森地区更生保護女性会「愛の泉」
 鈴木道行
 〈2万円〉八戸地区更生保護女性会
 関一宇
 小野知行
 〈1万円〉おいらせ地区更生保護女性会
 青森地区更生保護女性会
 柿崎美恵
 〈5千円〉春嶺俳句会

この秋の創立55周年・第50回 「秋の集い」におもいをよせる

青森県更生保護女性連盟 会長 神 和子

青森県更生保護女性会は、昭和30年(1955)青森市の4名の女性保護司が中心になり、青森保護観察所のご尽力も得て、女性民生委員、市街地の篤志家女性48名で創立しました。昭和35年に弘前市、36年に五所川原市に創立。翌37年には三市連合の青森県更生保護女性連盟が東北地方で初めて、初代会長水原節様で創立しました。以後各地区的保護司のご協力を得て八戸、黒石、平内、三戸、七戸を県内8地区に創立しました。結束を強め、充実した活動を目標にした「秋の集い」を各地区に訪ねて開催することに。昭和43年「第1回秋の集い」弘前地区で開催。現在では25地区1,844名の会員

が自主的に創造性を持って無得の更生保護のボランティアとして、先人の方々の熱きおもいを受け継ぎ、地域社会に根ざし、豊かな生活を続けています。

「創立55周年と第50回秋の集い」の記念すべき年を迎えますことは、会員の皆様とともに感激と感謝の気持ちでいっぱいです。

またこの間、関係機関・団体の皆様方の多岐にわたるご指導ご支援に心より感謝申し上げます。

この節目の時にあたり、平成29年9月19日ホテル青森において、県内各地の更生保護女性会の会員が多数集い記念事業の一環として、青森保護観察所所長松橋進一様より記念講演を賜り、「秋の集い」が感動的に挙行されます事は、私たちにとりましても終生忘れられない記念となり、これから活動に大きな励みとなるものでございます。

今後ともご指導、ご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。